



雑貨部門賞

革工房アバハリ
加藤光也さん

デザインと機能性、その両立を実現した。手によく馴染むように、革はタンニンなめしのオイルドレザーを使用。アクセサリ感覚で使える



国内最大のレザーコンペディション

Japan Leather Award 2012 受賞作品、決定!

メンズバッグ部門賞

ナオトサトウ
佐藤直人さん

革の裏地には、ネオプレーンと呼ばれるスキューバなどに使われる素材を使用。従来のバッグより、軽量で縫い代もキレイな立体的なデザイン



グランプリはコレ!!

グランプリ受賞

Tokyo toff
大河なぎささん

今年のグランプリはこちら。0歳用の新生児サイズ。赤ちゃんの肌にも安心なタンニンなめしのビッグスキンを使用。贈りものとして最適



メイド・イン・ニッポンにこだわった数々の作品からその年の最優秀賞を決める同アワードが今年も開催。日本の皮革製品の素晴らしさを、ぜひ感じて欲しい。

日本の皮革製品の素晴らしさの訴求と、新たな才能の発掘を行なう、「ジャパンレザーアワード」が今年も開催。今年のテーマは「麗しきおくりもの ~肌と肌が触れ合う、革だから伝えられることがある~」。審査対象となるのは、日本でなめされた革を使用し、日本の職人によって生み出された、“日本製”にこだわった皮革製品、全205点。プロ審査員と、一般審査員がそれぞれ投票し、今年も数々の作品が栄誉ある賞を受賞した。



紳士靴部門賞

ヒロカワ製靴
廣川雅一さん

シワのあるネック部の革や、製造時に出る小さな端材を再利用し、個性的な表情に。弊誌でも馴染みのあるスコッチグレインのモデル



社団法人 日本皮革産業連合会 (JLIA)
Japan leather and leather goods Industries Association

www.jlia.or.jp

アマチュア部門賞

エスペランサ靴学院
中村郁代さん

青森に伝わる“こぎん刺し”という伝統的な刺しゅう技法を用いた。“実用性”と“美”を兼ね備えたモデル



アマチュア部門賞

三井造船
二本 真さん

独自の革の加工で、いつまでも型崩れせず、足と一体化するように作られた。履き続けることでよりその魅力が増す



レディースバッグ部門賞

シーソー
中村保義さん

仕様や飾りを極限まで減らしたバッグ。使う人に素材の良さを感じてもらいたい、という想いから生まれた



婦人靴部門賞

宮城興業
渡辺蘭子さん

堅牢な作りの革製長靴。雪で覆われた地面でも履けるように制作。汚れにも強く、足馴染みの良さも魅力



Web投票特別賞

Bobby Art Leather
照下 穂さん

ロックヴォーカリストに贈ることを想定してデザインされた。オールハンドステッチ仕様も魅力



審査員特別賞

ナスタチウム
大澤美希子さん

履く人を笑顔にできるパパーシュを作りたいたい、オリジナルのチューリップ柄のビッグスキンを使用した



審査員特別賞

.URUKUST
土平恭栄さん

自分で作れる革カードケースの制作キット。自分の手を加えられることで、より愛着を感じることができる



審査員特別賞

リーガルコーポレーション
花田春臣さん

紙コップフォルダー。楽しんでもらうために、組立てキットとして設計。サイズ変更可能なアジャスター付き

